

活動終了後は・・・

活動の振り返り

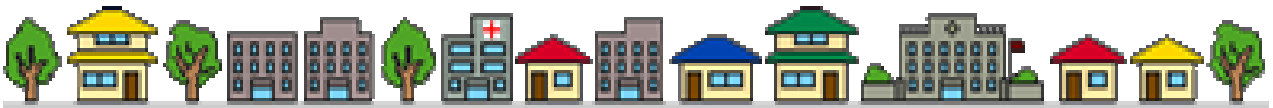
活動終了後、先生方との話し合いを持ち、活動を振り返ってみることは、次回のボランティア活動を充実させ、よりよい活動にするために、ぜひ必要なことです。また、そのことは、自分の学習意欲をさらに高めることにつながっていきます。活動内容や感想など、自分なりに記録を残しておきましょう。

ボランティアの輪を広げよう

ボランティア活動は、一人だけで行うよりも、やはり仲間とともに行う方がよいと言われます。なぜなら、活動の悩み事があった場合に、仲間に相談することができ、お互いアドバイスし合うなど、資質を高めることができるからです。

また、自分が用事がある時に、学校からの依頼があっても、仲間に対応することができます。

最初は、一人で始めても、活動をとおして仲間をつくるよう心がけることが大切です。楽しく、継続的なボランティア活動を行うためにも、ボランティアの輪を広げ、仲間同士が積極的に交流の機会を設けましょう。



学校とのよい関係づくりから始めましょう！

子どもたちへの教育を学校だけに負わせるのではなく、学校と家庭・地域とが一体となって進めるものだという認識が定着してきました。しかしボランティア活動を学校に申し出ても学校がなかなか動いてくれないという地域の不満を聞くことがあります。

確かに、学校には、未だ閉鎖的な姿勢が残っていることがあります。しかし、学校としても、よく知らない人に、子どもの教育や施設整備を任せることに不安を感じるはずで、また、何か協力したいと言われても、学校では何を依頼すればよいかわからないこともあります。

そこで、ボランティア希望者や地域の方々は、まず、どのような活動ができるかを具体的に学校に示すことです。例えば、専門的な指導の場合には、活動案を作成したり、活動実績や資格・特技などを記録したものを学校に提出してみてもいいでしょうか。

次に、いきなり学校に行くのではなくて、学校行事に参加するなど、日頃から学校に足を運ぶよう心がけてはどうでしょうか。授業公開日や運動会、学習発表会、地区別懇談会などに参加して、学校との関係を築くよう努めることが大切です。

そして、公民館サークルなどの団体単位で学校支援を申し出るのも一つの方法です。学校にとっては、個人よりもサークルなどの団体の方が支援活動を依頼しやすいからです。